



本事業は、SDGsの「17 パートナースシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025 年 4 月 16 日（水）
愛知県政策企画局国際課
国際戦略グループ
担当 野村、富田
内線 2448、2198
ダイヤルイン 052-954-6130

知事の米国渡航中の行事結果について

2025 年 4 月 15 日（火）午前、知事は米国テキサス州ダラス近郊のリチャードソン市において、テキサス大学ダラス校を訪問し、リチャード・C・ベンソン学長と面談しました。その後、テキサス州プレイノ市においてジョン・マンズ プレイノ市長と面談しました。午後には、ダラス市において、アダム・バザルドゥア ダラス市臨時副市長と面談しました。

1 リチャード・C・ベンソン テキサス大学ダラス校学長との面談

（1）日時

2025 年 4 月 15 日（火）午前 8 時 50 分から午前 11 時 10 分まで

（日本時間 4 月 15 日（火）午後 10 時 50 分から 4 月 16 日（水）午前 1 時 10 分まで）

（2）場所

テキサス大学ダラス校（リチャードソン市）

（3）面談者

リチャード・C・ベンソン テキサス大学ダラス校学長

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、テキサス大学システムの一つである、テキサス大学ダラス校を訪問し、ベンソン学長と面談しました。

始めに大村知事は、ベンソン学長から、同大学がSTEM教育に強みを持ち、多くのハイテク人材の輩出を担う研究型の大学であることや、この 12 年間で入学者数が 51% 増加するなど全米でも有数の急成長している大学の一つであることなどテキサス大学ダラス校の概要について説明を受けました。

大村知事は、「今月 3 日には、御校と愛知県内最大の私立大学である名城大学が、相互連携に係る覚書（MOU）を締結されたと伺っている。今後、両大学間の学生及び教職員の交流や、シンポジウム等イベントの開催、共同研究の実施など、様々な連携が進んでいくことを期待している。」と話しました。

さらに、大村知事は、「愛知県とテキサス州は 2016 年 4 月に『友好交流及び相互協力に関する覚書（MOU）』を締結し、9 年に渡り、着実に交流を重ねてきている。2024

年 7 月にはこれまでのMOUをアップデートして、新たに相互協力声明（SMC）に署名し、スタートアップ支援、医療、青少年交流を始め様々な分野で、更に両県州の連携を強化していくことを確認した。」と話しました。

また、大村知事は、2019 年からテキサス大学オースティン校との間で実施しているグローバルに活躍するスタートアップの創出・育成を図るプログラムや昨年 10 月に開業した STATION Ai、スタートアップエコシステム形成に向けたフランスの Station F など海外のスタートアップ関連機関との連携について説明しました。

これに対してベンソン学長から、「テキサス大学ダラス校は民間企業が設立していることから、起業家精神が強いことも特徴である。我々も民間企業や地元自治体と連携するための施設を有している。」との発言がありました。

さらに、大村知事が昨年 3 月に全 5 エリアがフルオープンしたジブリパークについて紹介したところ、ベンソン学長から、「我々は国際的な連携に精力的に取り組み、在学する約 3 万人の学生のうち約 1 万人が留学生である。日本の大学とも連携し、国際的な教育プログラムを実施しているが、日本の大学とのプログラムはアニメが好きな学生から非常に人気が高い。名城大学とのMOUの締結により多くの連携の機会が期待され、非常に楽しみである。」との発言がありました。

最後に、大村知事は、ベンソン学長へ来県を呼び掛けました。

その後、大村知事は、大学職員の案内で半導体の基礎研究や生命工学の研究を行っている研究施設を視察しました。

【テキサス大学ダラス校概要】

設 立：1961 年にテキサス・インスツルメンツの研究機関として設立され、1969 年に博士課程の大学院生のみを受け入れるテキサス大学システムの一つとして大学に昇格。1990 年から学部 1 年生の受入開始。

学部数：7 学部（人文情報学部、行動脳科学学部、政治経済学部、工学・コンピューターサイエンス学部、学際研究学部、経営学部、理数学部）

学生数：約 30,000 人（学部生：約 22,000 人、大学院生：約 8,000 人）

特 色：設立当初から研究型大学として発展。

特に、宇宙科学、生体工学、サイバーセキュリティ、ナノテクノロジー、行動・脳科学等の分野での研究が評価されている。

【テキサス大学システム概要】

大学システムとは、地理的に分散している複数の大学等の集合体であり、構成機関は、システム全体を統括する評議員会や理事会等の組織によって管理されている。

テキサス大学システムは、州立の大学システムであり、テキサス州にある 9 つの大学と 5 つの医療機関からなる。本部はオースティンに所在し、旗艦校はテキサス大学オースティン校。

【構成機関】

○学術機関（9 大学）

- ・テキサス大学オースティン校
- ・テキサス大学アーリントン校
- ・テキサス大学リオグランデバレー校
- ・テキサス大学タイラー校
- ・スティーブン・F・オースティン州立大学
- ・テキサス大学ダラス校
- ・テキサス大学エルパソ校
- ・テキサス大学サンアントニオ校
- ・テキサス大学パーミアンベースン校

○医療機関（5 機関）

- ・MD アンダーソンがんセンター
- ・サウスウェスタンメディカルセンター
- ・ヒューストン健康科学センター
- ・サンアントニオ健康科学センター
- ・テキサス大学医学部ガルベストン校

【名城大学とテキサス大学ダラス校の覚書概要】

締結日：2025 年 4 月 3 日（木）

目 的：・両大学の教育および研究活動への関心を高める。
・両大学の相互理解を深める。

連 携 内 容：・大学間交流：学生及び教職員の交流促進。
・イベントの開催：シンポジウム、学会等の開催
・共同研究の実施
・情報交換:両大学の研究に関する情報交換



ベンソン学長との面談の様子



ベンソン学長との記念撮影



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から5人目がベンソン学長)



研究施設を視察する様子

2 プレイノ市 ジョン・マンズ市長との面談

(1) 日時

2025年4月15日（火）午前11時30分から午後1時15分まで

（日本時間4月16日（水）午前1時30分から午前3時15分まで）

(2) 場所

Truluck's Ocean's Finest Seafood and Crab（プレイノ市）

(3) 面談者

プレイノ市 ジョン・マンズ市長

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、トヨタ自動車の北米本社があるプレイノ市のマンズ市長と面談しました。

大村知事は、2023年5月に面談して以来の再会、今回が3回目の面談となることの喜びを伝えるとともに、「愛知県とテキサス州は2016年4月に『友好交流及び相互協力に関する覚書（MOU）』を締結し、9年に渡り、着実に交流を重ねてきている。2024年7月にはこれまでのMOUをアップデートして、新たに相互協力声明（SMC）に署名し、スタートアップ支援、医療、青少年交流を始め様々な分野で、更に両県州の連携を強化していくことを確認した。」と話しました。

また、大村知事は、プレイノ市に北米本社があるトヨタ自動車によるサンアントニオ工場への5億3100万ドルの追加投資により、同工場への投資額は累計約50億ドルに達し、新たに400人の雇用が見込まれることを紹介するとともに、「テキサス州にはトヨタ自動車を始めとする31社の愛知県企業が進出して事業を展開し、地域の経済、雇用に貢献していることをうれしく思う。こうした企業の活動をマンズ市長始めプレイノ市の皆様に日々支えていただいております。感謝申し上げます。」と話しました。

これに対して、マンズ市長から「プレイノ市は愛知県企業に対して成功するための全面的な支援を提供したいと思っている。これからも継続したサポートを行っていく。」との発言がありました。

一方、大村知事は、「今回の渡航では、アメリカ連邦議会議員、テキサス州知事などと面談し、トヨタ自動車を始めとする愛知の企業や日本の自動車メーカーがアメリカに大きな投資をし、多くの雇用を生み出してきたことを説明するとともに、引き続きご支援いただくようお願いした。」と話しました。また、「アメリカ政府による関税措置により、自動車産業が集積している愛知県や日米の良好な経済関係に大きな影響が出る恐れがあるため、これから始まる日米両政府による協議でより良い解決策が見出せるよう、連邦議会議員などにもご支援をお願いしてきている。マンズ市長にもご支援をお願いしたい。」と話しました。

また、マンズ市長から、「今年 10 月に愛知県を訪問する予定である。」と発言があったことに対し、大村知事は、「皆様の訪問を歓迎する。」と応えました。



マンズ市長との面談の様子



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から 6 人目がマンズ市長)

3 ダラス市 アダム・バザルドゥア臨時副市長との面談

(1) 日時

2025 年 4 月 15 日（火）午後 2 時から午後 3 時 15 分まで

（日本時間 4 月 16 日（水）午前 4 時から午前 5 時 15 分まで）

(2) 場所

ダラス市庁舎（ダラス市）

(3) 面談者

ダラス市 アダム・バザルドゥア臨時副市長兼市議会議員

オマール・ナルバエズ市議会議員

ゲイ・ドネル・ウィリス市議会議員

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、ダラス市のバザルドゥア臨時副市長と面談しました。

始めに、バザルドゥア臨時副市長から、「昨年 11 月に愛知県を訪問した際には、温かいおもてなしを受け、大変感謝している。本日は、そのおもてなしへの返礼の機会となり、光栄に感じている。」と歓迎のあいさつがありました。

大村知事は、昨年 11 月にバザルドゥア臨時副市長が愛知県に来県して以来、今回が 2 回目の面談となることの喜びを伝えるとともに、「テキサス州には、トヨタ自動車を始めとする 31 社の県内企業が進出している。多くの企業が地域の雇用創出に貢献し、活発に経済活動を展開していることを誇りに思う。」と話しました。

さらに、大村知事は、「今回の訪問でワシントンDCにおいてアメリカ連邦議会議員と日米の経済関係に関して意見交換を行った。今後、関税措置に関する日米の政府間協議が始まるが、十分協議が行われ、将来に向かって良い解決策を見出せるよう、連邦議会議員などにもご支援をお願いしてきている。」と話しました。また、「テキサス州ではアボット州知事を始め、サンアントニオ市、プレイノ市、アーリントン市の市長などと面談し、トヨタ自動車を始めとする愛知の企業や日本の自動車メーカーがアメリカに大きな投資をしたことで、多くの雇用を生み出してきたことを説明するとともに、引き続きご支援いただくようお願いしてきた。」と話しました。

大村知事は、「愛知県とテキサス州は 2016 年 4 月に『友好交流及び相互協力に関する覚書（MOU）』を締結し、9 年に渡り、着実に交流を重ねてきている。2024 年 7 月にはこれまでの MOU をアップデートして、新たに相互協力声明（SMC）に署名し、スタートアップ支援、医療、青少年交流を始め様々な分野で、更に両県州の連携を強化していくことを確認した。」と話しました。

これに対して、バザルドゥア臨時副市長から、「昨年 11 月の訪問時には、ダラス・フォートワースと名古屋間の直行便の実現等について議論を行った。今後もダラス市として、アメリカン航空に対して直行便の必要性を継続して協議していく所存である。」との発言がありました。

さらに、バザルドゥア臨時副市長から、「中部国際空港とダラス・フォートワース国際空港間の直行便の就航により、経済的な結びつきが一層強化されるとともに、観光及び文化における相互理解の深化が期待される。昨年 12 月には、アメリカン航空、ダラス・フォートワース空港、中部国際空港株式会社、そして愛知県の経済団体等により直行便に関する議論が行われた。この議論は、両国の共通のコミットメントを示すものであり、今後の努力が実を結ぶことを期待している。また、ダラス・フォートワースと名古屋間には大きな潜在的可能性があると感じており、日本企業や愛知県の関係者と引き続き連携していく所存である。」との発言がありました。

また、バザルドゥア臨時副市長から、大村知事が愛知県とダラス市との友好関係の構築に寄与した功績を称える感謝状が授与されました。

最後に、大村知事はバザルドゥア臨時副市長へ愛知県への再訪を呼び掛け、面談を締め括りました。



バザルドゥア臨時副市長等に向けて
スピーチを行う様子



感謝状とともにバザルドゥア臨時副市長と
の記念撮影



バザルドゥア臨時副市長との面談の様子



バザルドゥア臨時副市長と記念品交換
(左から2人目がバザルドゥア臨時副市長)